

児童生徒の作品⑥

～夏休みの体験等～

校長 森 勝義

白井 志侑

5年1組「きいて、きいて、きいてみよう」

ぼくは、おばあちゃんの仕事についてきいてみました。なぜおばあちゃんの仕事について聞いたかという、いつもいそがしそうにしているので、どんな仕事をしているか気になったからです。おばあちゃんは管理栄養士として病院で働いているそうです。なぜその仕事をしているか聞いてみると、おばあちゃんのお姉さんが病気で長く入院し、ごはんがたべられないまま死んでしまったからだそうです。なぜその病院で働いているかも聞いてみました。その理由はお姉さんがお世話になった病院がその病院だからだそうです。

次に仕事の目的について聞いてみました。がん者さんの病気に応じた食事を考えて食べてもらい、早く元気になってたい院してもらうことだそうです。仕事で大変なのは、計算して決めた調味料の味つけはうすくなりがちで、食べてもらえないことがあることだそうです。そこで、がん者さんにたくさん食べてもらう工夫はあるかたずねてみると、病気に応じて材料や調理方法を変えて、やわらかく食べやすくしたり、十分な量の食事がたべられないがん者さんには、どんな栄養がたりないか考えて栄養ゼリーや栄養ドリンクを食べたり、飲んだりしてもらうこともあるそうです。

病気は薬で治すと思っていましたが、食事でも病気は治るのか聞いてみました。アレルギーなどは完全に食べないようにしないと命に関わる場合があります。また、制限されている塩分や水分も守る必要があるということです。

インタビューをして、いつも家ではわからなかったおばあちゃんの仕事について知ることができました。これからも元気でがんばってもらいたいと思います。

5年1組「アメリカでラーメン屋をはじめるには」

野澤 つばき

わたしは友達のお母さんの松村南さんにインタビューをしました。南さんはコロンバスで大人気のラーメン屋をしています。わたしは、ラーメンが大好きでラーメンを毎日食べたいくらいですが、お母さんは一週間に一回しか食べさせてくれません。しょう来、ラーメン屋さんになったら、ラーメンを毎日のように食べることができると思うので、ラーメン屋さんいきょうみがあり、インタビューをさせていただきました。

南さんは、もともとラーメン屋さんで働いていた時に、前のオーナーがラーメン屋を手ばなすと聞いて、そのラーメン屋さんを引きつぐことを決めたそうです。ラーメン屋を引きつぐことを決めた後、色々な手続きがあったり、ライセンスをとったりしなければいけなかったそうです。ラーメンを作るときに気をつけていることは、ラーメンの温度にばらつきがないようにすることだそうです。その理由は、日本人は温度がぬるいとまずく感じるので、つねにアツアツのじょうたいでラーメンを出すことができるようにしているそうです。

南さんのラーメン屋さんでは、しょうゆ、みそ、スパイシーみそ、とんこつ、ベジタリアンと色々なメニューを食べることができます。

ラーメン屋さんで一番大変なことは、じゅうぎょう員が急にこれなくなったりすることだそうです。そして、ラーメン屋さんになって一番よかったと思うことは、「おいしいよー。」とお客さんが言ってくれたり、遠くからわざわざこのラーメンを食べにきたりするお客さんがいるときだそうです。わたしは大人になったらラーメン屋をやりたいと思いました。

「父とサッカー」について

5年2組 水野 葵

父が小学3年生のころ、Jリーグが始まりました。父は、Jリーグを見て、サッカーという職業があることに衝撃を受け、あこがれて小学3年からサッカーを始めたそうです。そして、サッカーを通して楽しかったことやうれしかったことができました。例えば、サッカー友達と話すことや合宿が楽しかったそうです。うれしかったことは、試合で勝つことやポイントを入れることだったそうです。逆に試合に負けるとすごく悔しかったそうです。次に、サッカーを始めてからの生活や友達関係について聞いてみました。すごく変わったそうです。日常でサッカーをすることが増えて、もともと体が弱かったけれどサッカーをして体が丈夫になりました。友達も増えたそうです。わたしも同じくサッカーをしています。ポイントを入れるとすごくうれしく、初めて試合に勝ったときは、言葉に表せないくらいうれしかったです。

夏休みの出来事

6年2組 金田 悠聖

8月18日、ぼくは福岡に帰っている時に「鬼滅の刃無限城編」を見に行きました。映画はとても迫力があり、楽しかったです。そしてぼくが見に行ったチャチャタウンという映画館は、音量がすごく、後日、耳がとても痛くなるほどでした。そして映画が終わった後、家族で「楽しかったけど、音量が大きかったね」と話しをしていました。この絵は出口をすぐに出た後のところに置かれていたものです。ぼくはアメリカでも9月に上映されることを知ったので、アメリカでもう一度見たいです。

「北海道は、楽しいよ」

4年1組 西脇 楓悟

ぼくは、二年に一度、日本へ帰ります。

日本に帰る時は、北海道と東京に行きます。なぜかという、北海道では、ぼくの母の、東京では、父のおばあさんとおじいさんが住んでいるからです。

北海道のすし、ラーメン、じゃがいもとソフトクリームはとてもおいしいです。この中でとくに有名なのは、すしとラーメンです。すしが有名な理由は、北海道は魚がとれる量が日本一だからです。冬になると、有名なさっぽろ雪祭りが行われていて、四メートルほどの雪で作られたちようこくを見ることができます。みなさんも、ぜひ北海道に行ってみてください。

◎8月30日

<投稿作品> 土曜パラダイスで紹介

- | | | |
|----------|--------|------------------------|
| 小学6年1組 | 小澤 玲奈 | 「そよかぜと 長い旅出る もみじさん」 |
| 小学6年1組 | 井田 大葵 | 「目に浮かぶ トンボともみじ あきのじき」 |
| 小学4年1組 | 北川 佑菜 | 「うんどうかい あせがいつぱい たのしむよ」 |
| 小学4年1組 | 松田こうた | 「朝6時 バスにのって 1時間」 |
| 小学6年1組 | 青山 陽 | 「運動会 きんちょうする はじめてだ」 |
| 小学6年1組 | 入江 友 | 「転校生 足が速すぎ おいつけない」 |
| 小学6年1組 | 吉岡 律 | 「イラストを 本気で書いたら 大絶賛」 |
| 小学5年1組 | 野林 航大 | 「だんだんと ふゆがちかづく 夏のあさ」 |
| 小学6年1組 | 西川 翔真 | 「友だちと 一緒に走る 運動会」 |
| ダジャレコーナー | | |
| 小学3年2組 | さとうはるま | 「ないぞうがないぞう」 |
| 小学4年1組 | 衛藤ゆい | 「インディアナにいるインディアン」 |